

平成 28 年度自然災害研究協議会北海道地区フォーラム開催報告

平成 28 年度自然災害研究協議会北海道地区フォーラムが 2017 年 3 月 4 日（土），北見工業大学を会場に，一般市民を対象とした「防災フォーラム 2016 北見 激甚化する災害にどう立ち向かうか—災害の教訓—」を開催しました。

今年度は 2016 年 8 月 17 日～23 日の 1 週間に 3 個の台風が北海道に上陸し，道東を中心に大雨により河川の氾濫や土砂災害が発生しました。北見市を流れる常呂川流域でも，8 月 17 日，20 日～23 日に断続的な大雨がもたらされ，流域全体を通じて観測史上第 1 位の雨量を観測しました。下流の太茶苗水位観測所では河川水位が計画高水位を超過して，常呂川への流入支川では 2 か所の堤防決壊があり，道路や家屋，農地などへの浸水被害により，住民の避難先となっていた地区住民センターが浸水の恐れで別の避難先に移動せざるを得ない状況にありました。このように近年の気候変動の影響で，2014 年 8 月豪雨による広島市の土砂災害，2015 年 9 月の関東・東北豪雨に続いて北海道でも，1981 年 8 月（昭和 56 年）豪雨以来の大災害でした。

本フォーラムは今年度の常呂川豪雨災害を背景に，「激甚化する災害にどう立ち向かうか」をテーマとし，京都大学防災研究所・竹林洋史准教授（土木学会水害対策小委員会・幹事長）による基調講演「土石流・泥流を発生させる現象の実態と解析－2016 年熊本地震及び 2014 年広島豪雨による土砂災害を対象にして－」（写真-1）が行われました。引き続いて，「2016 年常呂川洪水の防災対応－タイムライン」について，河川管理者の網走開発建設部北見河川事務所の田村順一所長から「河川管理者はどう対応したか」（写真-2）を，地域の防災対応については北見市総務部防災対策・危機管理室の阿部孝夫部長から「避難の実態と情報伝達」（写真-3）の 2 件が報告されました。その後の総合討論では，今回の常呂川豪雨災害において河川管理者から地域自治体への災害情報伝達と，それに基づき自治体から地域住民への災害・避難情報などを，どのタイミングでどの様に情報伝達すれば良かったのか，等について，被災された住民からも意見が寄せられるなど，活発なディスカッションが交わされました（写真-4）。

このフォーラムの参加者数は 52 名であり，一般市民の参加者は北見市その他，オホツク管内の市町村だけでなく，遠路の帯広や札幌からも参加がありました。また，行政防災関係者の参加もあり，近年頻発する自然災害に対する関心の高さを物語っています。

早川博（北見工業大学）

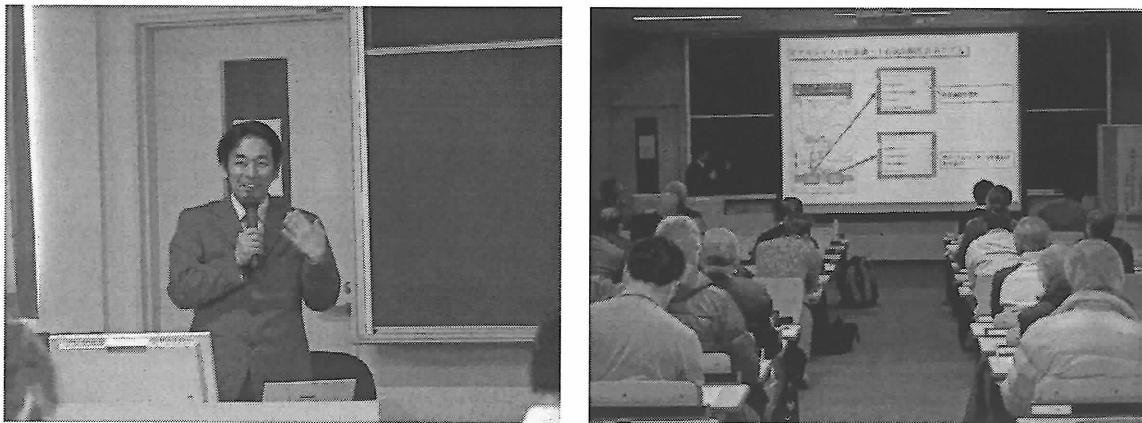


写真-1 基調講演（京都大学防災研究所・竹林洋史准教授）

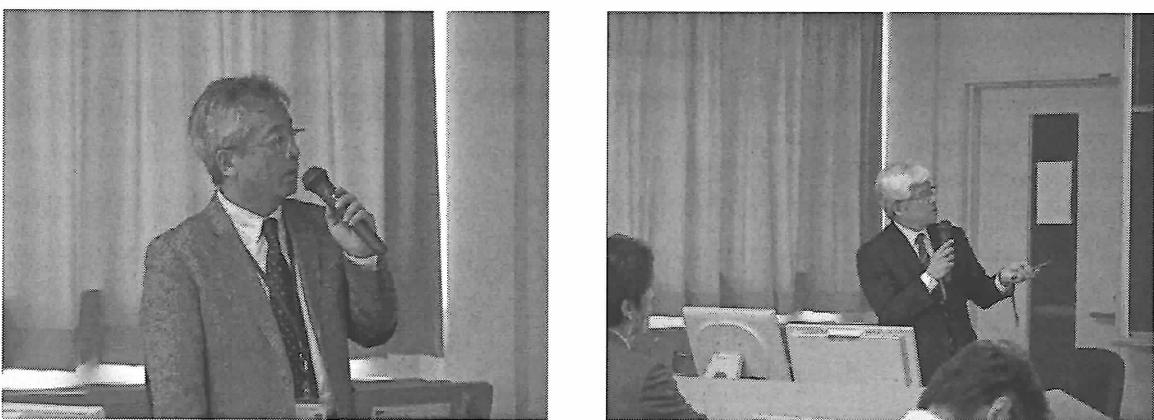


写真-2 北見河川事務所・田村順一所長

写真-3 北見市・阿部孝夫部長

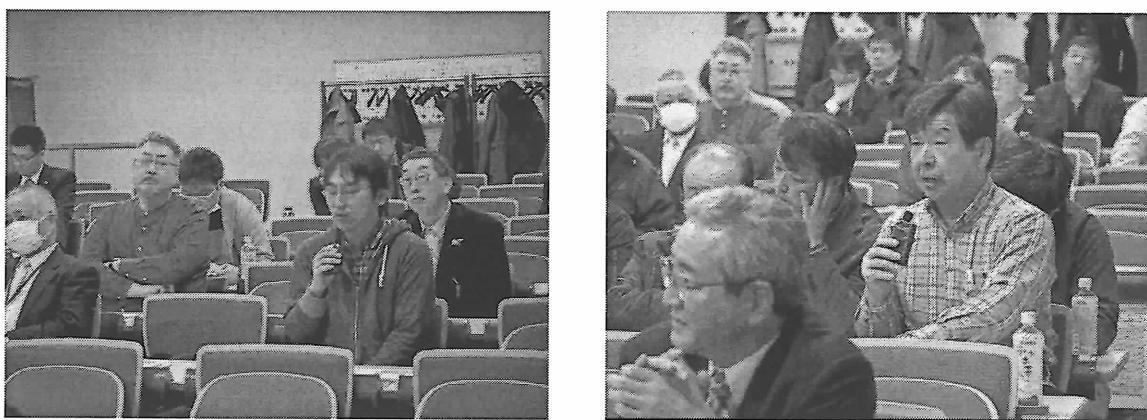
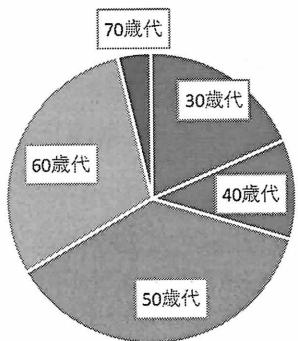


写真-4 総合討論

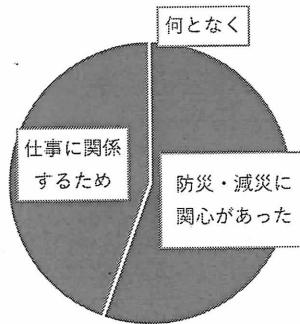
アンケート結果

回収数:27名

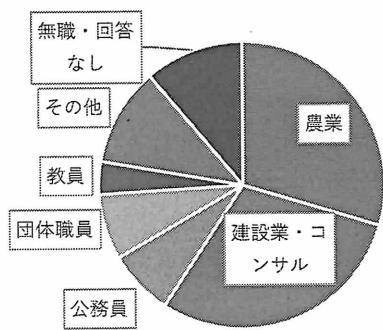
1. 年齢構成



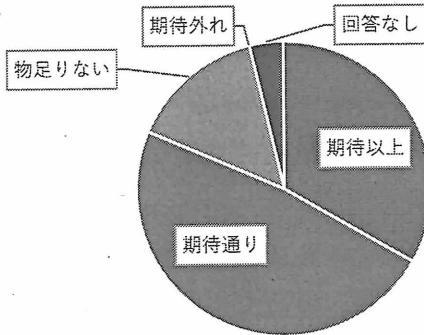
4. 参加した理由



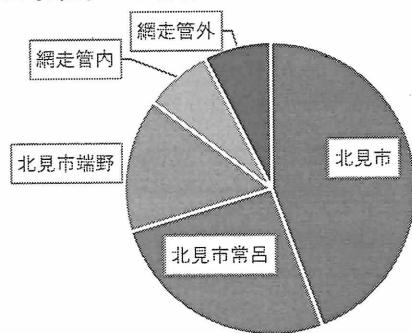
2. 職業



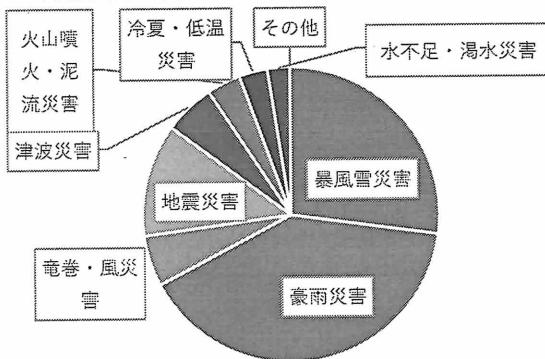
5. 感想



3. お住まいの地域



6. 自然災害の関心度



参加者の感想 :

- 非常にためになる講演が聞けて参加してよかったです。災害時の市民への情報伝達は非常に重要だと思うので、今後もこのような講演会を定期的に行って欲しい。
- 田村河川事務所長の報告が細かく実際の現場対応について判り易かったです。ただし、政策的に後押しがあったことも簡単に説明を加えて欲しかった（災害復旧や緊急治水対策）

プロジェクト, etc)。

- 災害は今後も確実に発生するとの予測の下、防災対策を進めて頂きたい。「川の防災情報」の話があったが、一般市民は天気予報は見ても河川の氾濫情報や土砂災害情報のことはほぼ知りません。
- 住民参加のため、実際に困っていることに関する質問があり、とても参考になった。
- 実際に起きたことに基づいた話が聞けて良かった。今後に向けた取組みに期待したい。
- 今後に向けての問題点がいくつか提起されたが、それがどのように解決に向けて取り組まれていくのか注意深く見ていただきたい。
- 竹林先生、判り易い説明で有難うございました。全国的な事例をご紹介頂き、とても参考になりました。
- 今回のフォーラムを次回の災害等に生かした防災計画、活動をして下さい。
- 京大竹林先生の話が面白かった。
- 基調講演の説明時間が不足していると感じた。
- 基調講演は多くの方に参加できる方法を！
- 基調講演で解析に関する方程式が説明されたが一般市民を対象とした場合、難易度が高すぎるのでは？
- 事例紹介は解り易かったが、今日のテーマである「どう立ち向かうか」に対して結論的な部分がよく解らなかつた。
- 竹林先生の基調講演も土石流の発生メカニズム等大変良かったと思う。田村所長のお話もよく理解でき良かった。
- 市の方の取組みも分かりました。